

さくら新聞

発行者：
下関深坂さくら友の会
下関市横野町 1-13-1
TEL:0832-58-3277
HP: <http://WWW.h2.dion.ne.jp/yasuokac/sakura>

第2回総会開催 7月16日



「さくら友の会」は7月16日(海の日)、深坂自然の森にある「森の家」で開かれました。発足以来初めての総会です。強い雨が降り、出足が心配されましたが、会員のうち59名が出席しました。

会員以外にも講演が目的で出席された方もありました。議事は、事業報告、決算報告、事業計画、予算、規約改正、役員改選などが審議されましたが、いずれも執行部提案どおり可決されました。

講演会

総会に引き続いて、樹木医の殿井正博氏の「深坂の桜について」と題する講演会が行われ、みんな熱心に聴いていました。

質疑では、「30本位、花が咲かない一

暑中お見舞い申し上げます

下関深坂さくら友の会 会長 福富征男

昨年三月に「さくら友の会」が設立され、会長を承つて1年3ヶ月が過ぎ、発足以来初めての総会を無事開くことが出来ました。はじめ、会長を仰せつかったときは不安で一杯でしたが、皆様のご協力です。楽しく過ごさせていただきました。この一年余の間に7回の定例会、

5回の特別作業などを行いました。いつも予想以上に多くの方が参加され大変力強く感じました。今年度も引き続き、さらに充実して楽しいさくら友の会になるよう皆様と共に努力していきたいと思ひます。

幸い昨年は大きな事故も無く過ごせました。今年も安全に気をつけて、桜と緑の夢を深坂に実現し、美しい市民の財産となるようみんなで前進を続けましょう。

会員の變動

10% 増判明

今年度は、団体会員と個人会員が大幅に減り、賛助会員が大きく増えました。合計では昨年より約1割の増加です。昨年度は発足したばかりで、会員の種別がよく分からなかったと思われまふ。

さくら新聞などで、日常活動が分かっていたので、参加できない方が賛助会員に移られたのだと思われまふ。一方、賛助会員で会費を二口以上払われる方が増えました。

年度	18年度	19年度
団体	12	8
個人	182	130
賛助	30	109
合計	224	247

役員改選

会長	福富征男
副会長	上畠政利
事務局長	西川浩子
会計	城戸哲郎
理事(広報部会長)	野口周三
理事(維持管理部会長)	江原寛治
理事(会員交流部会長)	殿井正樹
理事	和泉昭夫
理事	福田幸博
理事	年光洋一
理事	浅野史也
理事	道坂 優
理事	藤原 誠
理事	中原 彰
理事	常岡梅雄
理事	古田哲三
理事	平野 正
理事	白水禮二
監査	勝岡啓志

(樹木医、殿井正博氏)



桜四方山

平成の大合併で下関市の面積は3倍以上になった。その結果、角島大橋、豊田湖、豊田町のホタル、などなど豊かな自然が増えた。また数多くの桜の名所も増えたにちがいない。それらを探訪して廻って見るのも面白くなる。

それはさておき、旧市内の自然や桜は市民の庭のようなもので、日々の散歩やジョギングの場所としてまた特別な意味を持っている。

桜の名所としては、火の山、日和山、戦場ヶ原などがあり、その時期には大いに賑わう。しかし、深坂の森は、それらとは、ちよつと趣が違ふ。どこか奥庭という感じがする。自然の森につながらず、全部を知らない神秘性とも言うおつか、それがまた魅力である。

深坂の森に近づいただけで空気が違ふ。ダム湖の緑、悠々と遊ぶ白鳥。静寂の中にウグイスやカッコーなどの鳴き交わす声、日常の喧騒を洗い流してくる。

さくら友の会が、全くのボランティアで下草刈や、天狗巣病対策に汗を流すのも、この自然に対する感謝の気持ちに底にあるからだらう。汗を流せば流すほど、深坂の森がいとおしくなる。